



学校便り 「志々伎の風」

No.8

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成29年7月 7日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【教育週間、ありがとうございました。】

6月26日からの教育週間では、たくさんの方の来校がありました。ありがとうございました。

明寿会の方との昔遊び交流や給食会、道徳の授業参観、メディア講習会、フラワーロード作戦など、多くの方々の支えがあって、今の生活があることを少なからず実感できたと思います。



1年生の感想です。

「お手玉をおしえてくださり、ありがとうございました。だるまおとしがたのしかったです。はねつきやかざぐるまのこつをおしえてくださり、できるようになりました。けんだまをがんばりたいです。」



【親子で読書・みんなで読書】

交通事故で目も耳も不自由になってしまった子ぎつねのヘレン。いっしょに過ごした時間は短かったけれど、ヘレンはたくさんのおくりものを残してくれました……。



映画『子ぎつねヘレン』のその後が、絵本になりました。かけがえのないもの、家族の絆、思いやる心、そして命の尊さなど、大切なことに気づかせてくれる、心温まる一冊です。

【おめでとう!】

平戸市の水道週間標語コンクールで6名の子どもたちが受賞し、6日に社会福祉センターで市長さんより賞状を頂きました。

【優秀賞】

1年	柴山	颯月	さん
5年	崎村	夢來	さん
5年	田中	愛大	さん

【特別賞】

2年	浦田	航誌	さん
4年	遠矢	大悟	さん
4年	福田	一将	さん

【メディア講習会】

「無知は犯罪」という言葉を長崎県人権教育研究大会で聞いたことがあります。私たち大人の立場で考えると、子どもたちに必要な知識を教えないことは、犯罪に等しいと考えることもできます。

保護者の方々と一緒に3～6年生も参会し、スマホやゲームの持つ危険性や上手な付き合い方について学びました。

講師の方からは、参加された保護者の方の数の多さや感想を次々に発表する子どもたちに対する驚きの声を聞くことができました。

